

「香港中文大学サマースクール(中国語コース)参加報告書」

京都大学総合人間学部 4年 坂根衣璃子

今回の香港中文大学サマースクール(中国語コース)での授業や様々な国から参加している学生との交流、また学生寮での共同生活などを通して、国際的な理解を深めること、仲間と協力すること、また自身の進路について再考することの機会が得られた。

最初に、私はこのサマースクールに参加するまで中国語の履修経験がなく、中国語の知識はほとんどゼロの状態です。サマースクールに参加した。それゆえ、参加前はきちんと授業についていけるのか少し心配に感じていたが、いざ始めてみると、一番初級のクラスだったこともあってか、私と同じようにこれまでに中国語学習経験がない人も多かった。ドイツやフランスなどのヨーロッパの国々出身の学生も多く、漢字に触れること自体が初めての人もおり、その人たちは漢字に発音に文法にと覚えるのがとても大変そうだったが、普段から日本語で漢字を使っている分、発音や文法を重点的に学習することが出来た。また授業や休み時間、週末のアクティビティなどを通して様々な国出身の学生とも交流することができ、お互いに自国の文化などを紹介し合ったり勉強を助け合って進めることが出来たので、非常に有意義な時間を過ごすことが出来たと感じている。

次に、この3週間のサマースクールの間、仲間たちと大学生生活や寮生活など慣れない環境の中で多くの時間をともに過ごしたことで、当初はほとんど初対面だったにもかかわらず、互いに理解を深め合うことができた。私のルームメイトはフランス出身で最初はお互いの専攻のことや授業のことなどを話していたが、ある日お互いの好きな音楽のジャンルが似ていることに気づいてからは音楽の話などでさらに親交を深め、クラスが一緒だったこともあり、ほとんどの時間を一緒に過ごしていたように思う。このサマースクールでとても大切な仲間を見つけることが出来たと感じている。また、参加者の半数が日本人であったが、様々な大学や学年の人がおり、普段は日本でもあまり接点がないような人とも多く関わることができ、お互いに刺激を与えられたように感じている。また、日常生活において、食料を共同で購入したり、洗濯機をみんなで回したりするといった経験は、外国での共同生活の醍醐味であったと思う。

そして、今回のプログラムは自身の進路にも少なからず影響を与えているであろう。私は以前にカナダに留学した経験があるが、カナダに留学した時も、今回の留学においても、留学して様々な文化に触れるたびに、もっと自分の知らない世界の文化や情勢、歴史について知りたいと感じ、またそれまで当然だと思っていたことが世界的に見ると決して当然というわけではないということをもぎまぎと見せつけられると感ずることがあった。そして、そのよう多様性の中で自分の興味のあることを学んでいきたいという気持ちがより強くなったように感じている。

以上のように、今回のプログラムを通して得たものは、国際的な文化交流や理解のみならず、仲間との共同生活なども通して、より自国のことについても考える良いきっかけになったと感じている。この経験を今後活かして、これからも様々な文化と触れ合い、互いの理解を高めあっていきたい。